

津山中央病院健診センターは2005年の開設より地域の健診事業の一端を担うと共に、PET-CT、MRI等を利用したがんドック、脳血管ドック等の人間ドックにも力を入れています。また、健診・人間ドックとも要望の高い胃カメラによる上部内視鏡検診ができるだけ多くの方に実施できるように努力しております。



間ドックによる上部内視鏡検診ができるだけ多くの方に実施できるように努力しております。

また、健診・人間ドックによる上部内視鏡検診ができるだけ多くの方に実施できるように努力しております。

## ⑨ 大腸内視鏡健診開始に当たって

津山中央病院副院長(事務・健診担当) 宮島 孝直

ます。

健診のオプションプログ

ラムもがん検知のためのマ

イクロアレイ、動脈硬化指

標のロックスイング

ス、慢性胃炎・ピロリ菌感

染評価のためのABC検査

等も用意しています。

骨密度

度に関する最新の機械を

導入し、骨密度の全身分布

状態も測定可能です。14年

からは各種検査を集中化し

て2日で上下部内視鏡・全

身がん精査・脳血管精査を

施行できるスーパーードック

を開始しています。

16年からは、このス

ーパードックを中国人等の外国人

にも施行するインバウン

ドスーパーードックも開始し

ています。スーパーードック

受診の方々にはゆっくりと

くつろいで受診していただけます。

スーパーードックも

受診の方々にはゆっくりと

くつろいで受診していただけます。

スーパーードックも

受診の方々にはゆっくりと

くつろいで受診していただけます。

トネス施設カルヴァータ



プレミアムラウンジ スーパードック専用ラウンジ



PET-CT (2019年2月更新)

ある報告では、無症状検診受診者2万1805人に對して全大腸内視鏡検査を行った結果、約20%に腫瘍

性ポリープを認め、約1%

にがんを認めました。

便潜

陰性

でも「ポリープが

ない」「がんではない」と

はいいきれないつまり「便

潜血が陰性」でも「ポリ

ープはありえる」「がんの可

能性はある」といえ、大腸

内視鏡検査の有用性が報告

されています。

近年大腸がん・大腸炎症性疾患は増加傾向にあり、その早期発見は健康診断の一環としても重要な役割を果たしていくかと思います。ご検討いただければ幸いで

ます。

今後とも地域の方々のご要望に応えるべく、健康増進のために研さんし、健診機能の充実、健診被験者の方々の満足度向上に努めていく所存です。当津山中央病院健診センターをよろしくお願いします。

性ポリープが認められました。さらに便潜血陰性でも0・5%の方にはがんが発見されており、「便潜血が陰性」ならば「ポリープがない」「がんではない」とはいいきれないつまり「便潜血が陰性」でも「ポリープはありえる」「がんの可能性はある」といえ、大腸内視鏡検査の有用性が報告されています。

便潜血の結果で分けて検討を行うと、便潜血陽性的場合は36・5%に腫瘍性ポリープを認めましたが、便潜血陰性でも18・8%に腫瘍

があります。

津山中央病院 副院長 (0868-811-111)。連載は今回で終わりです。